

simple style～オヒルノオト～ 5月11日放送分 「新緑の頃に聴きたい曲」

### 1. Yellow Roses : HERON (4:13)

アルバムを通して聞こえる”小鳥のさえずり”は効果音ではなく本物の生音、のどかな農場で野外録音されたという伝説のアルバムです。

草の匂いのするような柔らかで素朴なサウンドと美しいメロディー。この季節に聴くのが一番とろけます。

### 2. Songbird : FLEETWOOD MAC (3:20)

フリートウッドマック 1977年のアルバム「噂」(Rumours)よりクリスティン・マクビーが歌う本当に美しいバラード。

1曲目 Yellow Roses の小鳥のさえずりから2曲目 Songbird と、鳥つながりで選曲してみました。

妖艶なスティービー・ニックスの歌うドリームスとは、ある意味対極なイメージですね。

### 3. Valsa (Como Sao Lindos Os Youguis) [Bebel] : Joao Gilberto (3:19)

ジョアン・ジルベルト 1973年の代表作「三月の水」に収められた、幼い娘ベベウのために書いた曲。ベベウは今やブラジリアン・ミュージックシーンを代表するシンガーに。

春～初夏に聴くボサノバは実に気持ちがいいですね。

### 4. One Flight Down : Norah Jones (3:05)

ノラはギターを持つと可愛いけれど、ピアノを弾いたとたん大人女性になるという不思議な魅力を持っています。

雨の日にノラの歌を聴いて癒されるもいいが、新緑の風に漂う彼女のスモーキーヴォイスもまた素晴らしいですね。

ああ～本当に癒される。